

流通科学大学「アジアビジネス人材育成プログラム」概要

1年生

2年生

3年生

日本語教育科目群

日本語 A～D 日本語資格試験講座Ⅰ・Ⅱ ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ等

キャリア教育科目群

自己発見とキャリア開発 A・B キャリア基礎論 キャリア実践論

インターンシップ科目群

オフキャンパスプログラムⅡ

日本語向上プログラム：就職活動や仕事の現場につながる日本語運用能力を高めるプログラム

社会共創プログラム：企業・地域・自治体が抱える課題解決に取り組むプログラム

就職サポートプログラム：就職活動にかかわる実践的な内容を組み入れたプログラム

- 本プログラムは、単位修得が可能な「日本語教育」、「キャリア教育」、「インターンシップ」科目群と、単位修得を伴わない「日本語向上プログラム」、「社会共創プログラム」、「就職サポートプログラム」から構成される。
- 「日本語教育」では、「日本語 A～D」科目により、日本語の4技能による運用能力を確実に身につける。また、「日本語資格試験講座」科目により、N2、N1の取得を目指す。そして、「ビジネス日本語」科目により、就職活動及び仕事の現場において必要とされるビジネス日本語を身につける。
- 「キャリア教育」では、「自己発見とキャリア開発」から「キャリア基礎論」科目までのステップにより、社会人になるまでのキャリアデザインを行う。「キャリア実践論」からは留学生クラスが設置され、ビジネスパーソンによる講話など、就職を目指す留学生に対し、実践的な教育内容を施す。
- 「インターンシップ」では、「オフキャンパスプログラムⅡ」科目または課外インターンシップにおいて、兵庫県の企業を中心に合計2週間程度の現場体験を実施する。
- 「日本語向上プログラム」では、「N1資格対策講座」、「N2資格直前講座」を前後期に開講している。また、「スピーチコンテスト」、「日本語プレゼンテーションコンテスト」など、就職活動や仕事の現場につながる日本語運用能力を高め、第三者が確認・評価するための企画を数多く開催している。
- 「社会共創プログラム」では、企業・地域・自治体が抱える課題に対し学生ならではの視点で企画・提案を行い、その過程で幅広い知識・スキルを身につける。
- 「就職サポートプログラム」では、留学生に特化した「留学生就職ガイダンス」をはじめ、業界研究・履歴書作成・面接マナー講座など、就職活動にかかわる実践的な内容を組み入れている。

趣旨

本学は、「流通を科学的に研究教育することを通じて、世界の平和に貢献し、真に豊かな社会の実現に貢献できる人材を育成する」という建学理念の下、設立された。そして、開学以来、アジア諸国における「流通」の社会的役割に着目し、そこで活躍する多くのビジネス人材を育成してきた。本プログラムでは、1年生配当の「日本語教育科目群」・「キャリア教育科目群」から、3年生配当の「インターンシップ科目群」までの科目を設けている。さらに、正規科目以外にも、日本語能力向上プログラムや社会共創プログラム、就職サポートプログラムを実施している。1年生から3年生になるまでの3年間で、日本語を駆使し、ビジネスの現場で活躍する人材を育成することを目指す。

企業・地域・自治体等との連携

「ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ」では、ビジネスパーソンから、企業におけるコミュニケーションについて話してもらう機会を設けている。また、「日本文化と社会」では、企業見学を通して、日本語運用における背景的知識を得る機会を作っている。

「キャリア実践論」では、山村ロジスティクス株式会社、株式会社ホテルニューアワジ、株式会社オフテクスホールディングス、石光商事株式会社、ユニ・ダイバーズ合同会社などの企業等に、講師派遣を依頼している。また、インターンシップ科目である「オフキャンパスプログラムⅡ」または課外インターンシップでは、兵庫県経営者協会、大学コンソーシアムひょうご神戸、協同組合関西ファッション連合、大阪外国人雇用サービスセンター等の協力を得ている。

「社会共創プログラム」では、企業・地域・自治体の方と連携し、実際に抱える課題や問題、企画を提供してもらい、さらに可能な限り企業メンターとしても関わってもらう。

卒業生のサポート体制としては、留学生支援部にて、卒業後の在留資格更新サポートや転職相談を実施している他、卒業生組織「有朋会」と連動した交流会も企画・実施している。